

製品名: フィラミン A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00370**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 281 kDa; Observed MW: 281 kDa

抗原情報

遺伝子名	FLNA
別名	ABP-280; ABPX; actin binding protein 280; Alpha-filamin; filamin 1; filamin A; alpha; FLN1; FLNA; FMD; MNS; NHBP; Non-muscle filamin; OPD; OPD1
遺伝子 ID	2316
SwissProt ID	P21333
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

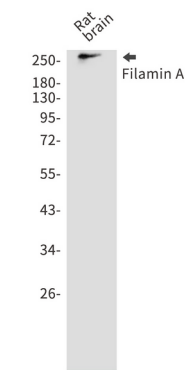
背景

アクチンフィラメントの直交分岐を促進し、アクチンフィラメントを膜糖タンパク質に連結する。様々な膜貫通タンパク質をアクチン細胞骨格に固定し、幅広い細胞質シグナル伝達タンパク質の足場として機能する。FLNA との相互作用により、神経芽細胞は脳室帯から皮質板へ遊走する可能性がある。

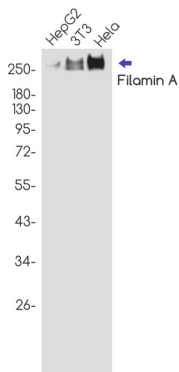
研究分野

細胞生物学

画像データ



フィラミン A 抗体を使用したラット脳溶解物中のフィラミン A のウエスタンブロット分析。



フィラミン A 抗体を使用した HepG2、3T3、HeLa 溶解物中のフィラミン A のウエスタンブロット分析。